



川崎市議会議員

本間 賢次郎 ケンジロウ

市政レポート No. 45 (令和3年7月号)

未来へ働き続ける、想いを「ツナ」ぐ。
イメージキャラクター：本マグロ ツナジロウ

事務所 〒210-0834 川崎市川崎区大島 3-14-17

TEL044-742-8072

FAX044-211-1081

ごあいさつ



6月23日に令和3年第2回定例会が閉会致しました。今議会では、「低所得の子育て世帯への生活支援給付金」をはじめ、「町内会・自治会活動の維持・拡大に向けた支援制度」、「新型コロナワクチン接種体制の強化」、「マイナンバーカード交付体制の強化」といった補正予算を含め、議案34件、報告16件が議題となりました。

また、わが会派がリーダーシップを発揮し、「特別自治市制度の早期実現等を求める意見書」を本会議にて提案し、自民・公明・みらいの各会派、無所属による賛成多数をもって採択することを決しました。

新型コロナワクチンの接種状況について 政令市内で特に順調に接種が進む川崎市！

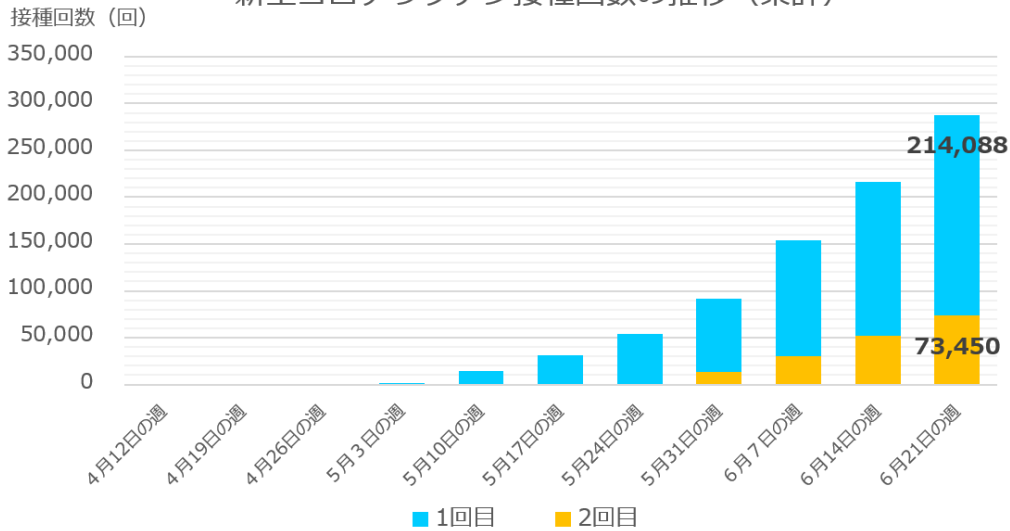
新型コロナワクチンの接種状況は、本市ホームページにて順次公表しています。6月最後の集計日となった28日の24時現在において、1回目接種と2回目接種を合わせて287,538回の接種が行われ、65歳以上の方の接種状況を見ると、63%が1回目の接種を終え、2回目接種についても24%が接種済です。この接種状況は、政令指定都市内でも特に順調に進んでいる状況で、国からも「川崎市のオペレーションはよくできている」と評価されています。

私たち自民党川崎市議団は、行政との連携を密にし、適宜、要望活動や提言を行い、協力して取り組みを行っています。引き続き、市民の皆様が、安心して、安全にワクチンを接種できるよう、情報の収集と共有、発信を積極的に行って参ります。

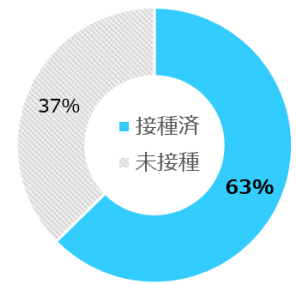
○新型コロナワクチン接種状況

(令和3年6月28日24時現在・川崎市ウェブサイトより)

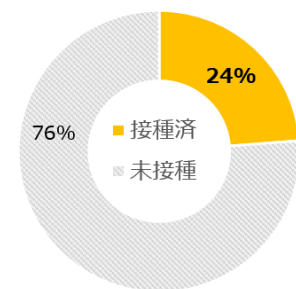
新型コロナワクチン接種回数の推移(累計)



65歳以上の方の接種状況
(1回目接種)



65歳以上の方の接種状況
(2回目接種)



港湾・臨海部は市内経済の牽引役！ コンテナ貨物取扱量増加へ取り組み強化を！

本間 賢次郎は、6月23日の本会議にて、川崎港のコンテナ貨物取扱量増加に向けた取り組みについて一般質問を行いました。

川崎港は、昨年まで6年連続となるコンテナ取扱量過去最多を更新し、17万TEU※を達成するなど、ますます勢いを増しています。そして、令和7年度までに取扱量20万TEUを目指しています。さらに、臨海部には多くの企業・施設が密集し、当地域から市へ納められる法人税は全市の法人税の37.4%(令和元年度)を占め、まさに市内経済の牽引役です。

日本の貿易事情から、本港も実入りコンテナの輸出が輸入量よりも下回っており、一層のコンテナ取扱量の増加には実入り輸出コンテナの獲得が重要なポイントです。この指摘に対し、港湾局長は「今年5月にコンテナ貨物補助制度の利用条件緩和や単価の見直しを行い、脱炭素化にも寄与する制度の拡充を行った」と答弁しました。

本港は首都圏屈指の物流拠点であり、輸出入が活発化することは、市内のみならず、国内の経済活性化に繋がるので、こうした取り組みは重要です。私は、力強い経済と持続可能な社会への環境保全の両立に向けて、引き続き、港湾・臨海部の活性化に取り組みます。※1TEU=20フィートコンテナ1個
写真=川崎マリエン展望室からの川崎港コンテナターミナルの眺め(撮影協力:川崎マリエン)

